

今月の耳より情報 No.10



テーマ

～だれでも一言



「新年の抱負」～

新しい1年がスタートしました。今年は、皆さんにとってどんな年になるのかワクワクしますね。「一年の計は元旦にあり」といいます。皆さんも今年の目標を立ててみてはいかがでしょうか。

「申」は、十二支の9番目。十二支の漢字は、もともと農業における植物の発達を十二段階に分けたものです。子(＝種子)から始まり、亥(＝核、結実して芯ができた状態)に至るまでを表現していて、それを庶民に覚えてもらうために動物の名前を当てはめたそうです。

その中で、「申」は草木が十分に伸びきり、実が成熟して香りと味が備わり、堅く殻におおわれていく時期を表しています。それは、私の人生に照らし合わせてみても、まさに今の状態に近いと思います。

これからの人生の収穫期に向けて、当たり前を訪れる日々を大切に、実りある毎日を過ごしていきたいです。(Kさん)



曲がったことが許せない。良くいえば正義感が強いところが申年の魅力だそうです。しかし今年は、その性格が裏目に出してしまう年になるようです。それを避けるためには、新しいことにチャレンジして、今までとは違った自分になるヒントを得ることが大切だそうです。

物事に対して、違った角度から見たり考えたりすれば、今まで見えなかったものが見えてくるかもしれません。今年は、今までと違った視点で物事を見るように努め、新たな自分を発見できるヒントにしたいです。(Tさん)

私の新年の抱負は「意志堅固」、何事にも自分自身の核をもって取り組むことを心がけています。お正月恒例の駅伝大会に胸を熱くし、選手たちの姿に畑は違えど最後まで“思い”を貫き通すことの大切さを強く感じました。今年の干支は申、猿まねにならないよう努めていきたいものです。

(Mさん)

VOL.19

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

水道課の石井勇樹です。

私の担当業務は、主に水道関連申請の受付や納入通知書等の発行を行っています。生活していく上で欠かせない水道の仕事に携わっているという責任を持ち、上司や先輩方に助けてもらいながら日々仕事に取り組んでいます。今まで当たり前に使っていた水について、深く考えることが少なかったのですが、日々覚えることが多いですが、日がたつにつれ、少しずつやりがいやおもしろさも感じつつあります。今後は誰からも頼られるような職員を目指し、努力を惜しまず頑張っていきます。



水道課の坪大地です。

採用から間もなく1年が過ぎようとしています。現在はまだ、自分自身の成長をあまり感じることはできませんが、ここまでやってくることが出来たのは、上司や先輩方の支えがあったからです。

所属する水道課では、漏水調査や工事などの業務に携わっています。専門的なことが多く、難しいことばかりで覚えることもたくさんありますが、一つ一つのことを確実にこなしていき、様々なことを吸収していきたいです。そして、自分の成長を感じられるよう、少しずつ歩んでいきたいと思っています。